

Acca Style Kitchen

-SPICE-

施工説明書

この「施工説明書」をよくお読みいただき、内容を充分にご理解いただいた上で正しく安全に施工してください。

施工完了後は各部の点検を行い、異常のないことをお確かめください。

ビルトイン機器等の本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。

紛失や汚れが生じないようにして、保管ください。

目次

安全上のご注意	2.3	サイドパネルの取付	9
各部の名称	4	背面オープン収納	10
部品一覧表	4	天板の取付	11
施工前の確認事項		機器の取付	11
建築側の確認	5	金物の取付	12
設備側の確認	5	棚板・底板設置	13
用意するもの	5	扉の取付	13.14
施工手順		扉調整	14.15
フレームのつなぎ方	6	設備の接続	15
キャビネットの組立	6.7	点検	16
レベルの調整・固定	8	施工後の注意	16
背板・パイプ棚の取付	9		

安全上のご注意

○警告表示の見方

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



この絵表示は、気を付けていただく「注意」内容です。

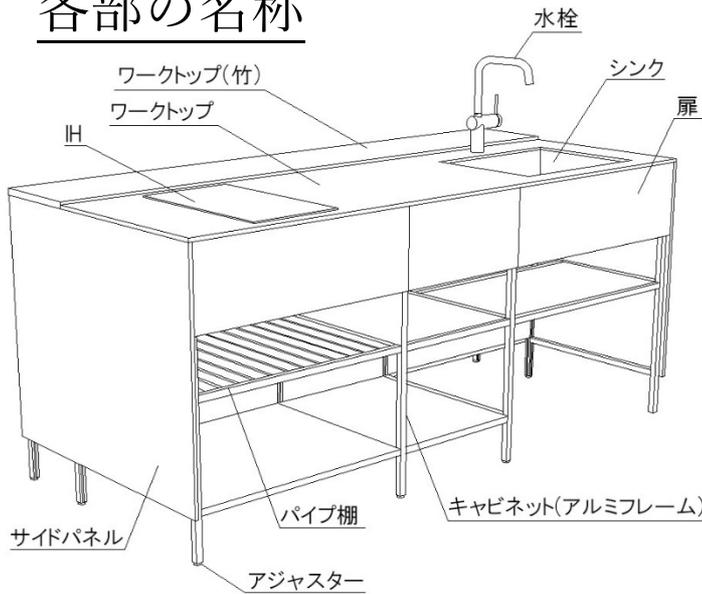
警告

-  分解・改造はしない。
…破損して、怪我をする恐れがあります。
-  水道、電気工事は関連する法令、規定に従い必ず「有資格者」が行ってください。
…誤った接続や固定方法で行うと、漏水、発煙、火災、漏電の原因になります。
-  定位置に床固定金具(同梱)を使い、床にしっかりと固定してください。
…設備が外れたり、キッチンの破損、怪我をする原因になります。
-  ネジ類で固定する際は、ネジの六角溝、十字溝を破損しないようにしてください。
…固定が不十分になり破損や怪我の原因になります。
-  キャビネット・ワークトップの上に乗ったり、もたれかかったり重量物をのせたりしないでください。
-  作業中は保護手袋を着用してください。
…金属製品の切断面で、怪我をする恐れがあります。
-  移動・搬入の際は2人以上でしっかりと持ち上げる。
…落下して破損、怪我をする恐れがあります。※PPバンドで持たない。
-  除光液などの薬剤を使用しない。
…表面処理がはがれてしまう可能性があります。

注意

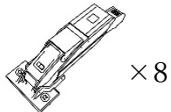
-  取付完了後は扉・引出しの傾き、がたつき、ヒンジの緩みがないことを確認してください。
…調整後は緩めたすべての扉の指定のネジを硬く締め付けてください。
※締め付けが不十分な場合、使用中に扉が落下し怪我をしたり、調整がずれる可能性があります。
-  ビルトイン機器については、それぞれ付属の説明書・注意表示をご覧ください、正しく取付を行ってください。
…誤った取付を行うと思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。
-  排水金具の接続は各部品を確実に締め付けてください。
…水漏れし、不快なおい、カビの発生、腐食の原因となります。

各部の名称

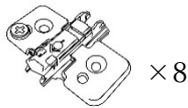


部品一覧表

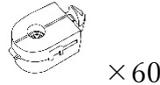
No.1 ヒンジ



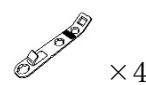
No.2 座金



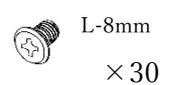
No.3 カバーホルダ



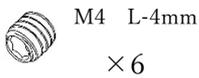
No.4 フロントフック



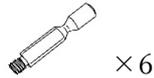
No.5 背板ネジ



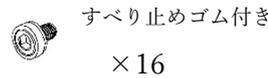
No.6 連結ボルト用ネジ



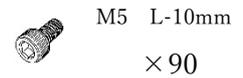
No.7 連結ボルト



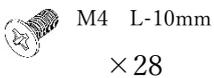
No.8 棚ダボ用六角ボルト



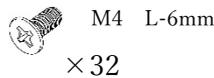
No.9 六角ボルト



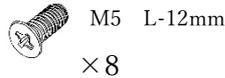
No.10 皿ネジ



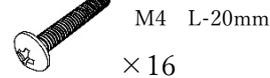
No.11 皿ネジ



No.12 皿ネジ



No.13 トラスネジ



No.14 トラスネジ



No.15 トラスネジ



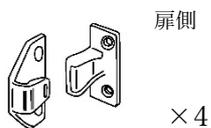
No.16 真鍮拡張ダボ



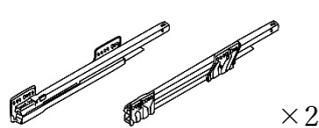
No.17 ドアバンパー



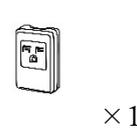
No.18 ケクセット



No.19 レールセット



No.21 IH用コンセント



No.22 D ブラケット



施工前の確認事項

○建築側の確認

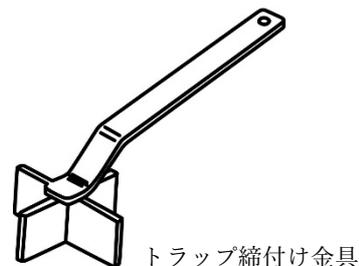
- ・設置前に床が仕上げてあることを確認してください。
※キッチン下は床が見えるため配管立ち上げ部分の仕上げも必要
- ・床レベルの確認
※アジャスターで調整可能な範囲は約 15mm 程度までです。
- ・設置位置の確認
- ・キッチン下の床暖房の確認
※キッチン中央のフレームから床に固定が必要です。（同梱の床固定金具使用）
- ・搬入経路の確認

○設備側の確認

- ・設備位置の確認（設備の位置及び詳細に関しては別途設備図面参照）

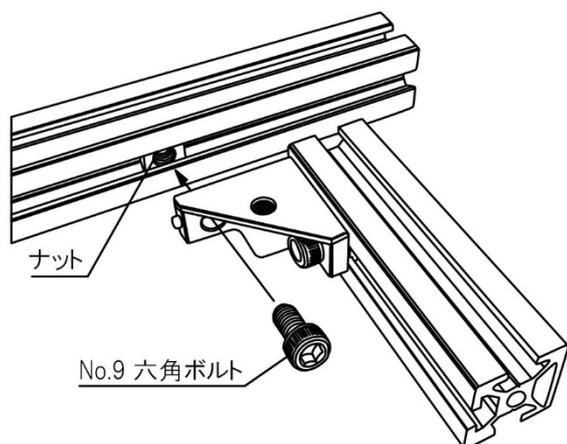
用意するもの

- ・軍手
- ・プラスチックハンマー
- ・塩ビ排水トラップ締付け金具
- ・プラスドライバー
- ・トルクスドライバーT25
- ・インパクトドライバー（床固定時使用）
- ・その他 機器取付に必要な道具（詳細は各専門業者に委ねる）



施工手順

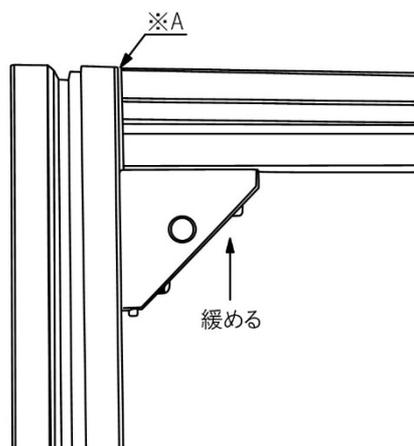
○フレームのつなぎ方



あらかじめ仕込んであるナットを移動させ、
No.9 のボルトを使用してジョイントします。

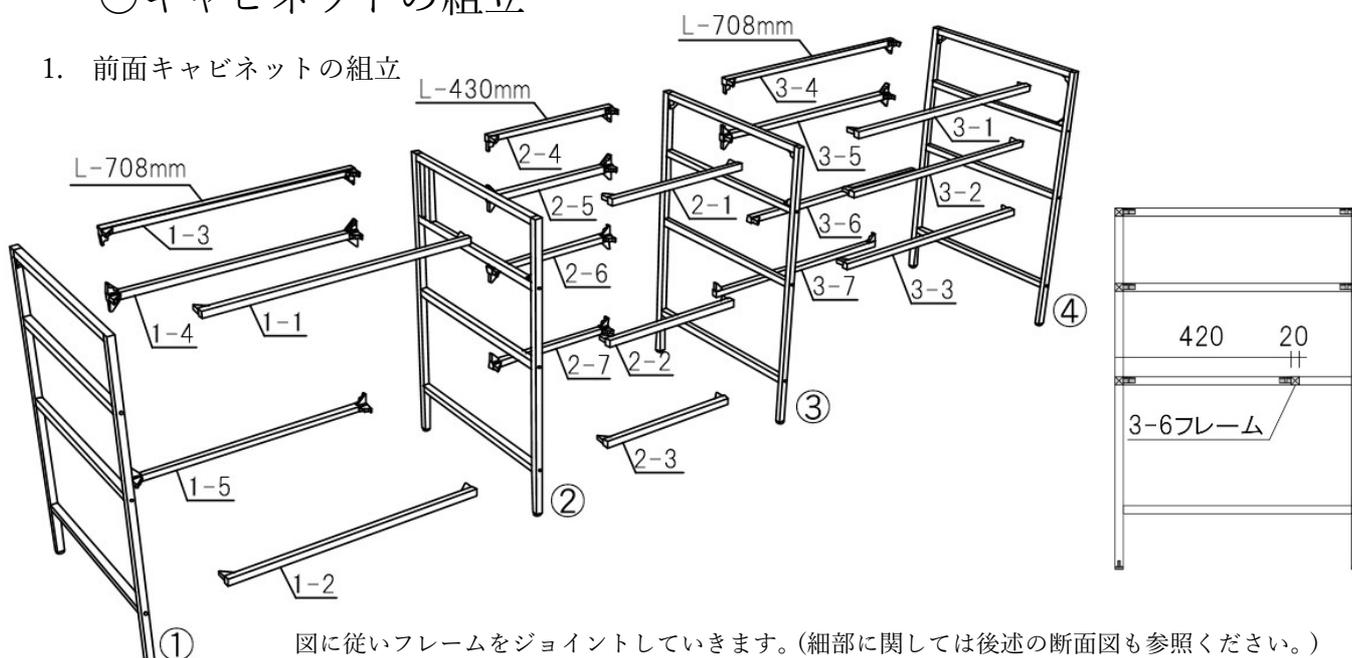
【Point】

※A の箇所には隙間がある場合は一度ボルトを緩め隙間をなくした状態でしっかりと締め直してください。



○キャビネットの組立

1. 前面キャビネットの組立



図に従いフレームをジョイントしていきます。(細部に関しては後述の断面図も参照ください。)

※フレームに貼り付け済みのシールがフレームの上面にくるようにつないでください。

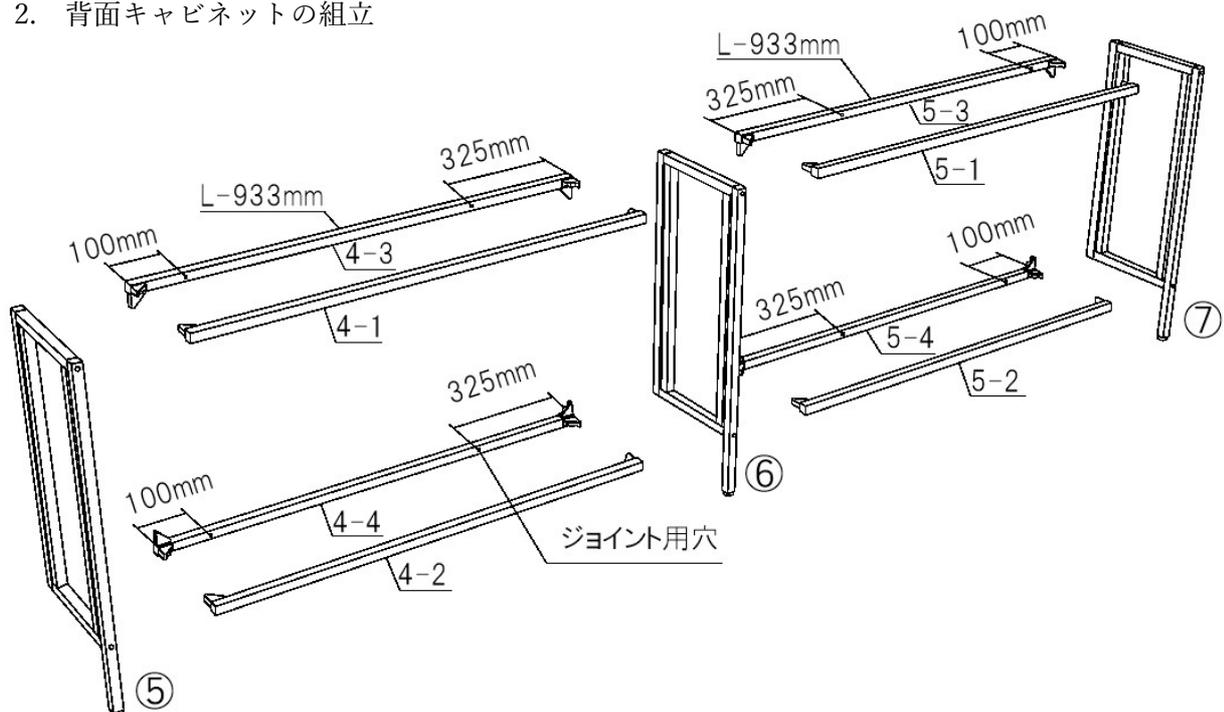
側板はシールの貼り付けてある面が前面になります。

※3-6 フレームは側板用フレームの前から 420mm の位置にジョイントします。(上図参照)

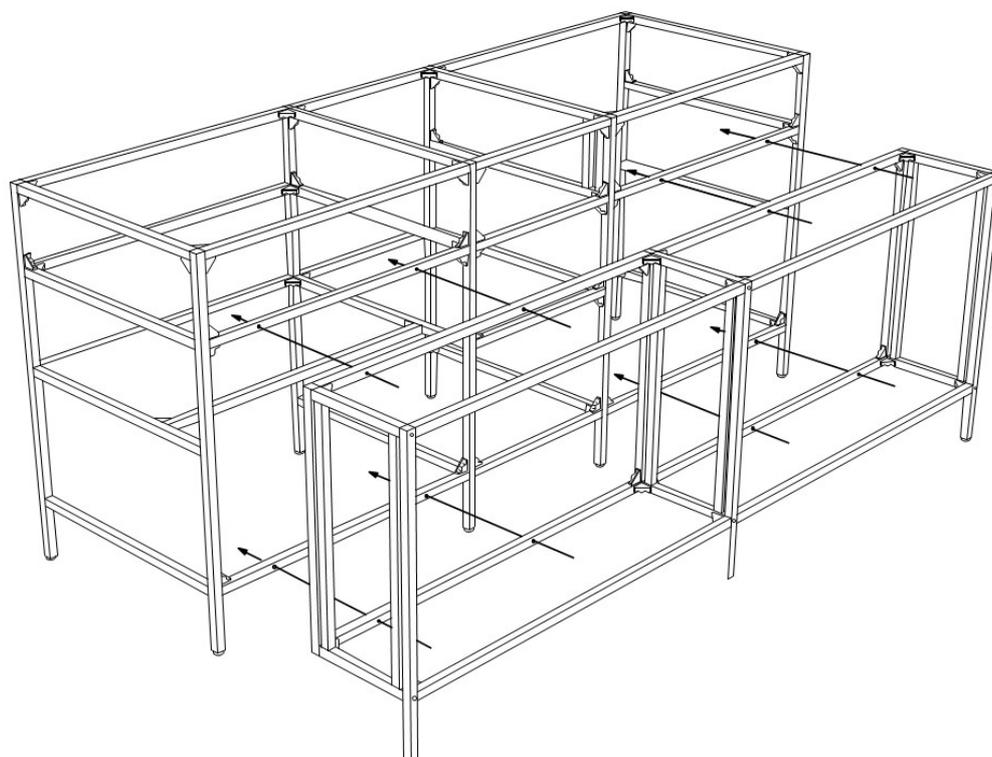
※この図面は SPICE(R)の図面です。SPICE(L)は左右反転します。

※貼り付けてあるシールはジョイント後外してください。

2. 背面キャビネットの組立



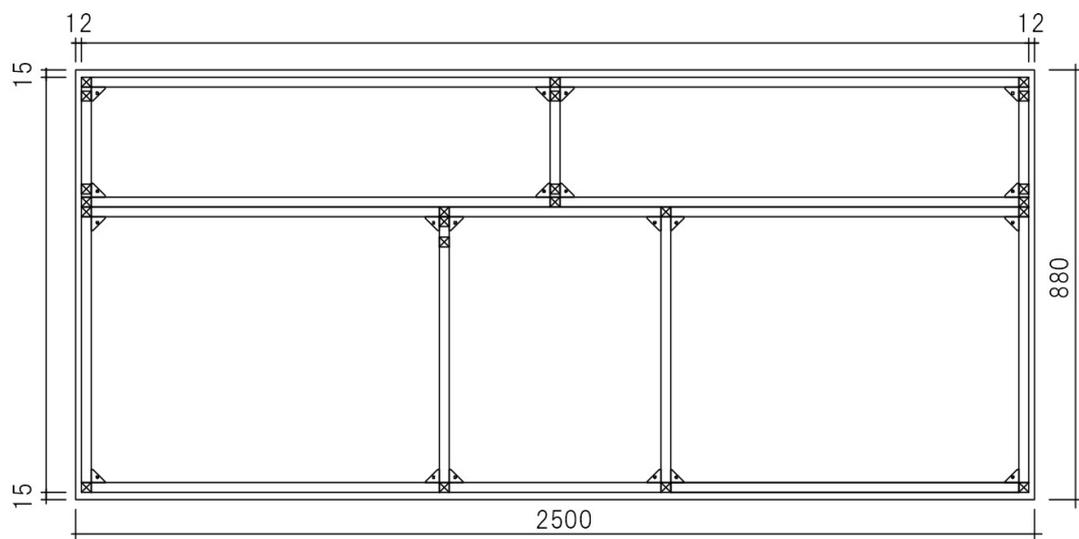
3. 前面キャビネットと背面キャビネットのジョイント



No.15トラスネジを使用して前面キャビネットと背面キャビネットをジョイントします。(計8カ所)
ジョイントは背面キャビネット側から行います。

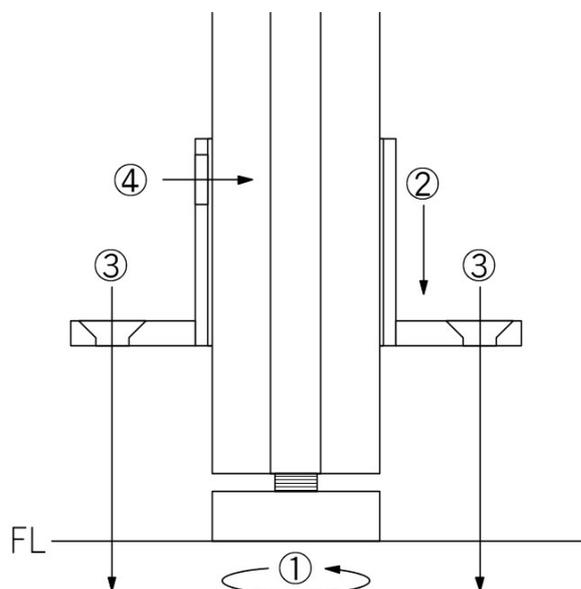
○レベルの調整・固定

1. キッチンの定位置に移動します。



※キッチンの端から前後は15mm、左右は12mmの位置がフレーム面になります。

2. 床への固定(中央2カ所)



- ①アジャスターを回して全体のレベルを調整します。
- ②付属の床固定金具のネジを緩め床まで下げます。
- ③床へビスで固定します。(ビスは別途ご用意ください。)

※床への固定の際、床暖の有無を確認し固定可能な長さのビスをご用意ください。

- ④ネジを締付け動かないようにします。

○背板・パイプ棚の取付



1. No.3 カバーホルダを背板設置部分に取り付けます。

※背板 1 枚につき 4 個ずつ上下左右の中心に使用。

※向きに注意しながら時計回りに回して取り付けます。

2. No.5 背板ネジを使用して背板を取り付けます。(計 6 枚)

※一回で締めず 4 カ所ネジを仮止めしてから締めてください。

※レベル調整が悪いと背板がきっちり入らない場合があります。

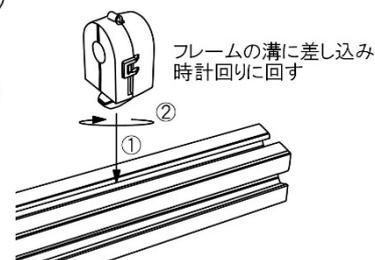
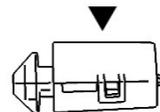
3. No.15 トラスネジを使用してパイプ棚を取り付けます。(計 6 カ所)

※取付の際にパイプ棚が落下しないように注意してください。

パイプ棚の損傷及び怪我、ネジ山が破損する可能性があります。

※フレームの木口面でフレームの化粧面が傷つかないように作業してください。

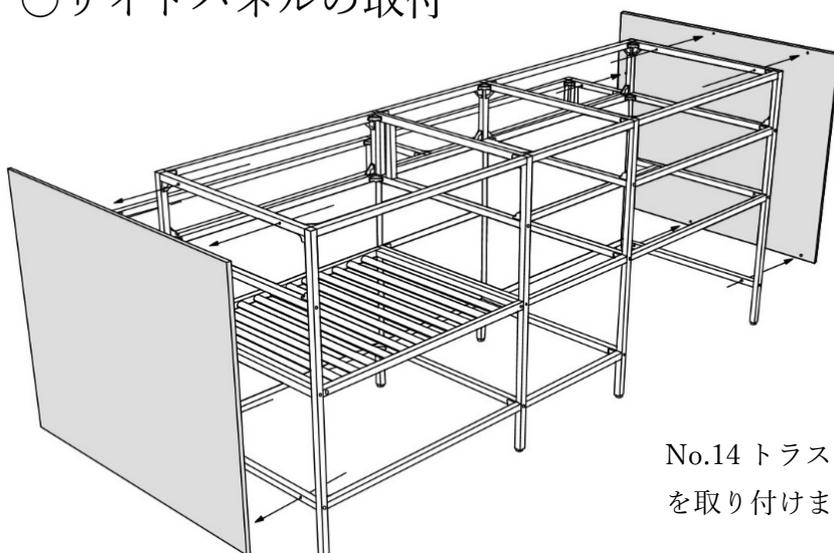
前(板側)



【Point】

- ・どうしてもパイプ棚が入りにくい場合はジョイントのボルトを軽く緩めてください。
- ・最初は手でネジを回して仮止めするとネジ山が破損せず作業しやすくなります。

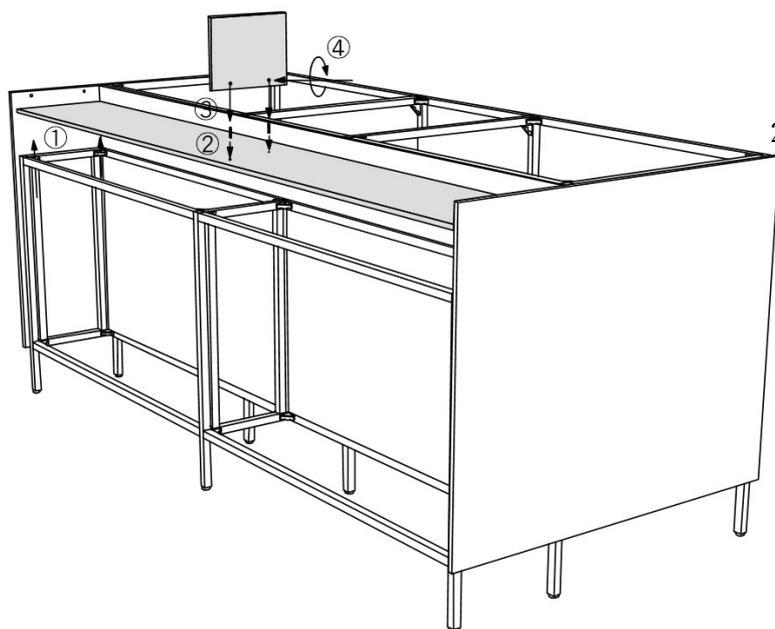
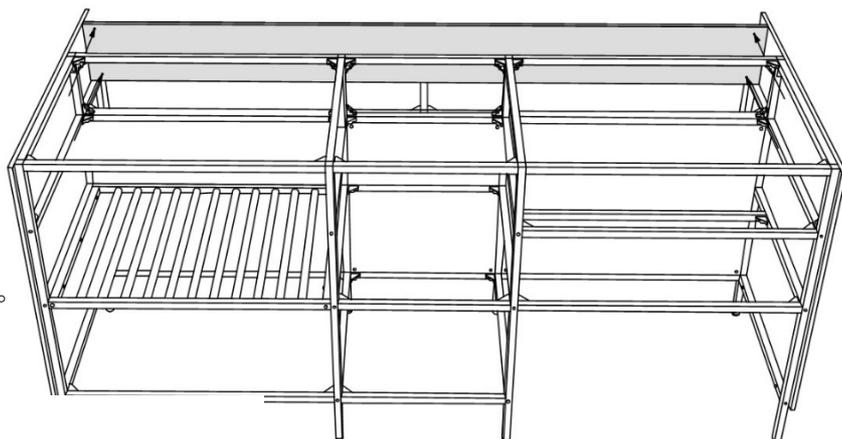
○サイドパネルの取付



No.14 トラスネジを使用してサイドパネルを取り付けます。(各6カ所)

○背面オープン収納

1. D ブラケットの穴から No.13 トラスネジを使用して背面オープン用背板を固定します。(計4カ所)



2. 背面オープン用底板と仕切り板の取付

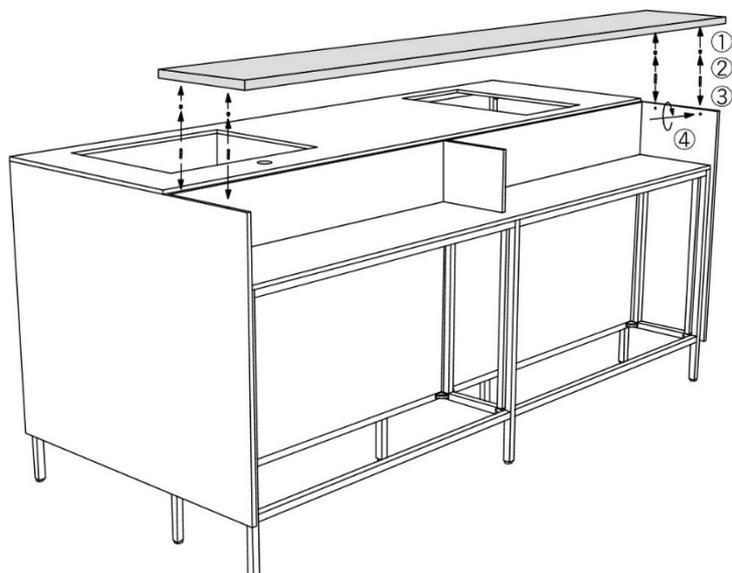
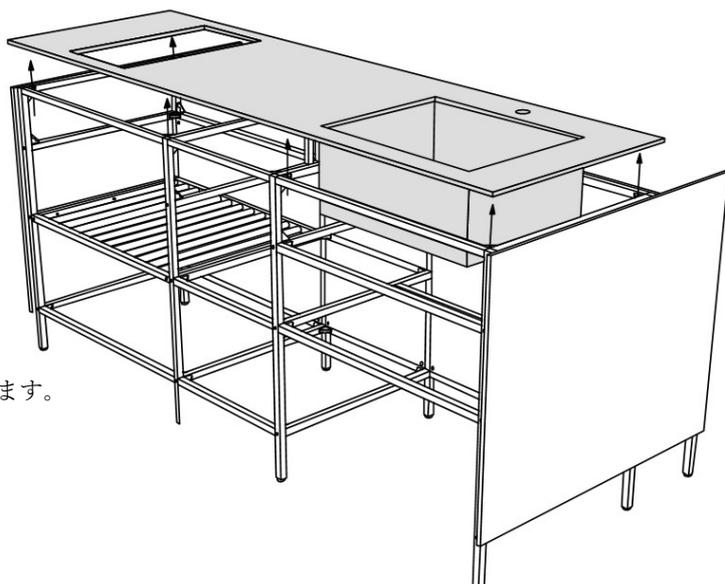
- ①D ブラケットの穴から No.13 トラスネジを使用して底板を固定します。(計4カ所)
- ②No.7 連結ボルトを底板中央に取り付けます。(計2カ所)
- ③仕切り板を差し込みます。
- ④No.6 連結ボルト用ネジを使用してしっかりと固定します。

○天板の取付

1. D ブラケットの穴から
No.13 トラスネジを使用して
天板を固定します。
(計 8 カ所)

【Point】

サイドパネルの面と天板の木口面を合わせます。



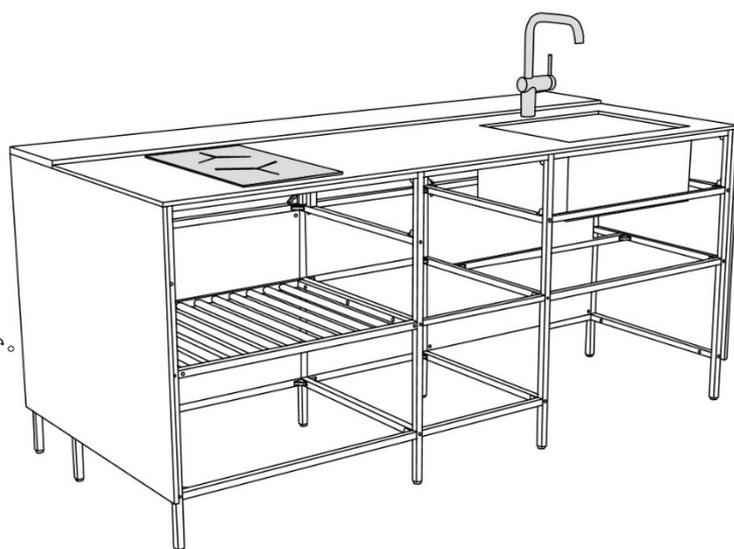
2. ①天板に No.16 真鍮拡張ダボを
プラスチックハンマーで埋め
込みます。(4 カ所)
- ②天板に No.7 連結ボルトを
取り付けます。(計 4 カ所)
- ③背面用天板を差し込みます。
- ④No.6 連結ボルト用ネジを使用して
しっかりと固定します。(計 4 カ所)

○機器の取付

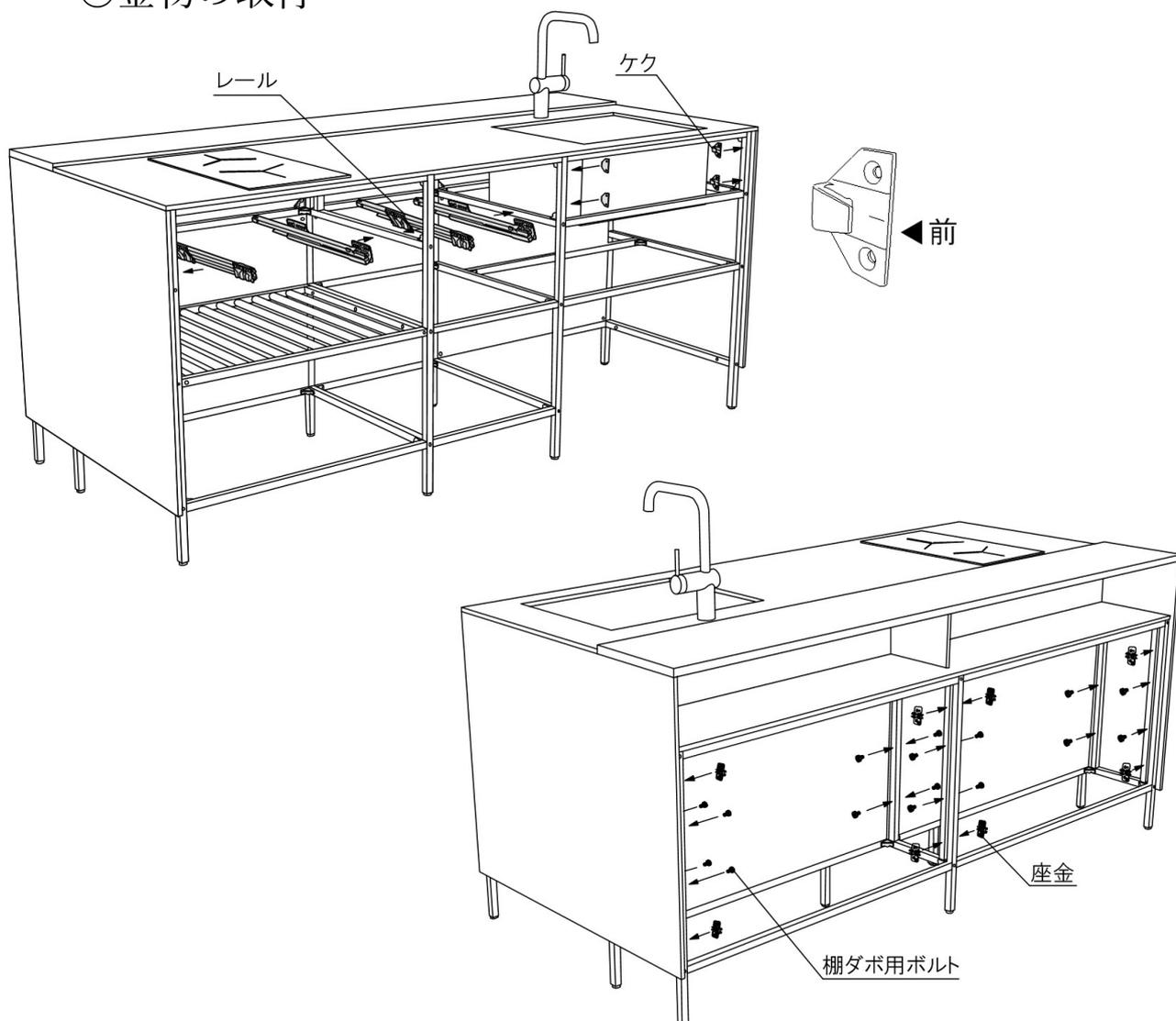
IH,水栓,排水トラップを取り付けます。

※機器は各設置説明書に従い正しく取り付けてください。

※排水トラップはトラップ締め付け金具を使用し、
しっかりと締め付けてください。

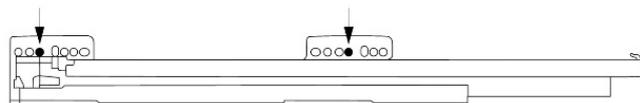


○金物の取付



1. No.12 皿ネジを使用してレールを取り付けます。(計 2 セット)

※右図の穴位置を使用して取り付けます。



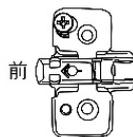
2. No.10 皿ネジを使用してケクを取り付けます。(計 4 カ所)

※フレーム側のケクを取り付けます。

3. No.10 皿ネジを使用して座金を取り付けます。(計 8 カ所)

※取り付けの向きにご注意ください。

矢印が前を向くように取り付けます。



4. 棚ダボ用ボルトを取り付けます。(計 16 カ所)

※締めすぎると可動の際に外しにくくなったり、破損の恐れがあります。

○棚板・底板設置

1. No.3 カバーホルダを底板設置部分に取り付けます。

※前面キャビネット側は底板1枚につき4個ずつ前後左右に使用。

※背面キャビネット側は底板1枚につき4個ずつ前後に使用。

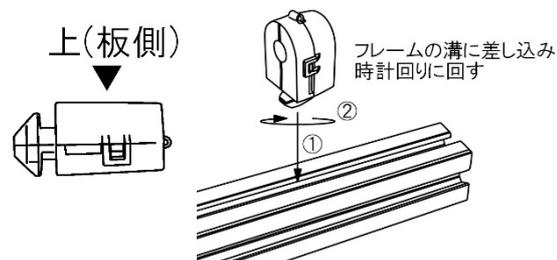
※向きに注意しながら時計回りに回して取り付けます。

2. 底板を設置します。(計6枚)

※エッジ・角で手を切らないようにご注意ください。

※たわみが気になる場合はカバーホルダの位置を調整してください。

3. 棚板を設置します。(計4枚)

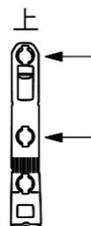


○扉の取付

1. 引出し用扉に No.4 フロントフックを No.11 皿ネジを使用して取り付けます。(各2カ所)

※取付の向きにご確認ください。

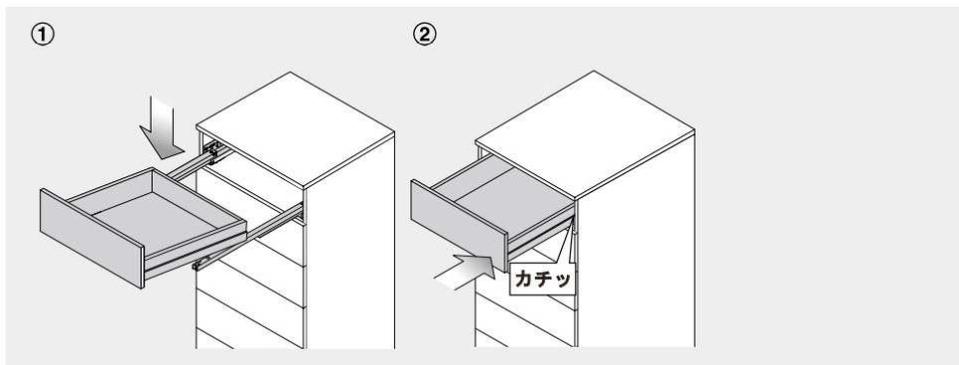
※右図矢印の2カ所の穴を使用します。



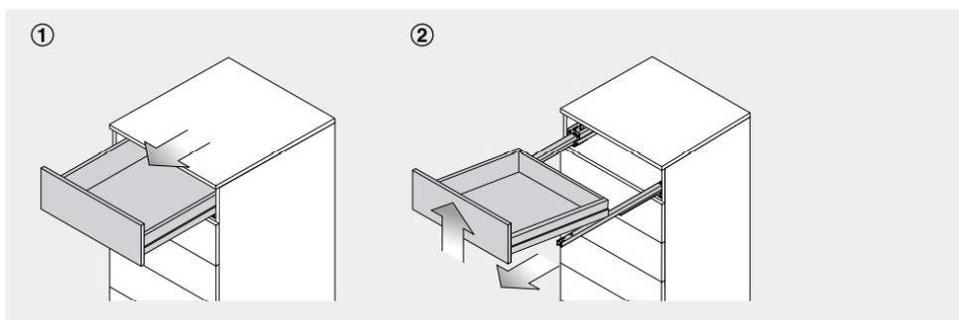
2. 引出しをキッチンに取り付けます。

※ガチャッと音がするまでしっかりと押し込んでください。

取付方法



取り外し方法



3. 引出し用扉を取り付けます。

※フロントフックの下側のツメを差し込むようにし、扉を落とし込みながら取り付けます。

※左右両方がきちんと差し込まれていることを確認してください。扉が落下し破損及び怪我の原因になります。

【Point】

引出しの動きがおかしい、扉をつけてきちんと閉まらない場合は一度レールの取付穴があっているか？

フロントフックの取付穴があっているか？しっかりと左右のレールに引出しが入っているかを確認してください。

4. シンク前 Fix 扉に No.18 ケクを No.10 皿ネジを使用して取り付けます。(計 4 カ所)

※取付の向きにご注意ください。



5. Fix 扉を前からはめ込みます。

6. 開き用扉に No.1 ヒンジを No.11 皿ネジを使用して取り付けます。(各 2 カ所)

7. ヒンジを座金にはめ込み開き扉を取り付けます。(計 4 枚)

※ヒンジを前から差し込み引っ掛けた後、後部を押し込むことでカチッと固定できます。

※取り外す際は後部の裏側にあるつまみを押しながら外します。

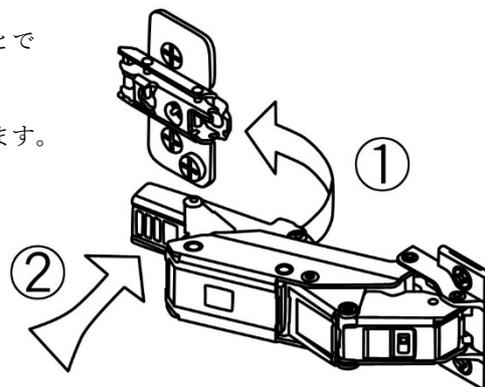
※扉を落とさないようご注意ください。

※Point

開き扉は取付場所が決まっています。

穴位置が前から 45.5mm→両端 2 枚(左右は違いなし)

穴位置が前から 35.5mm→中央 2 枚(左右は違いなし)



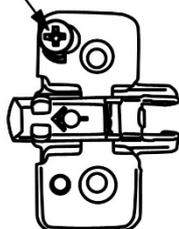
○扉の調整(開き扉)

・上下の調整は座金側で行います。

・前後左右の調整はヒンジ側で行います。

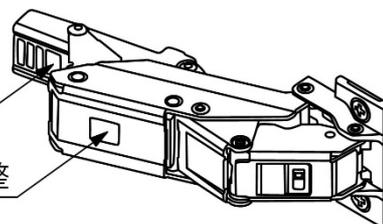
※必ず上下二つとも同じように調整を行ってください。 ※調整の際、開閉時に扉を損傷しないようご注意ください。

上下の調整



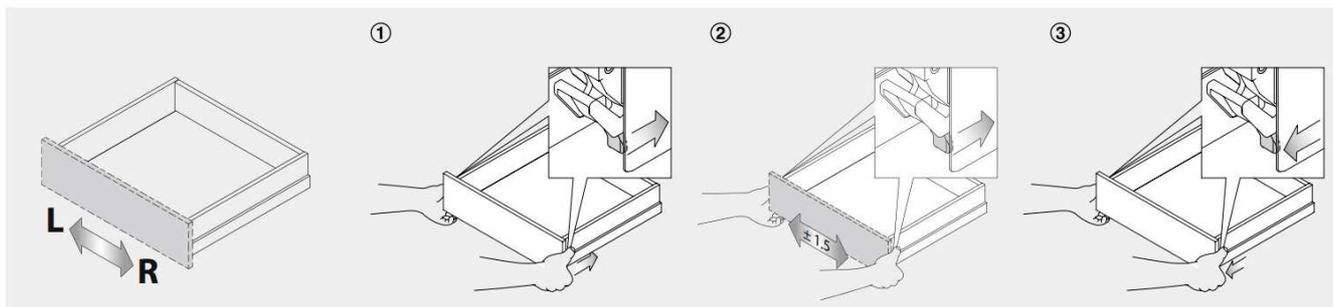
前後の調整

左右の調整

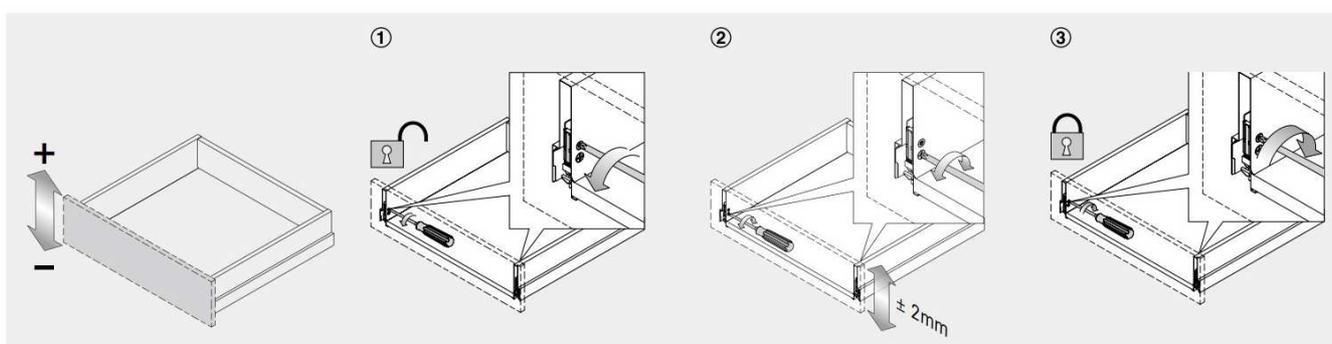


○扉の調整(引出し扉)

左右の調整



上下の調整

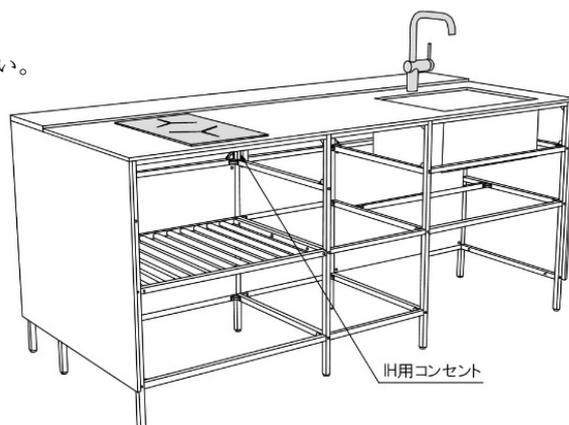


○設備の接続

1. 電気ケーブルをフレーム伝いに IH 用コンセント取付位置まで配線します。

※配線が引出しに干渉しないよう固定してください。

※必ず有資格者が行ってください。



2. No.21 IH 用コンセントを No.10 皿ネジを使用して固定し、電気ケーブルと接続します。
3. 給排水の接続を行います。

※必ず有資格者が行ってください。

※配管は見えてくるのできれいに仕上げてください。

○点検

1. 給水・給湯が正常に出るか、排水の水漏れがないかの確認をします。

※点検の後、シンクに残った水滴を必ずふき取ってください。

配管に残っていた不純物が付着し、錆等の原因になります。

2. IH が正常に起動するかを確認します。

3. その他確認事項

- ・キャビネットのボルトやジョイントに緩みがないか。
- ・引出しの動きに異常がないか。
- ・扉はこすっていないか。
- ・キッチンはしっかり床に固定されているか。
- ・傷や汚れはないか。

○施工後の注意

1. 施工後は必ずきれいに清掃を行ってください。

※汚れた状態で長時間放置すると腐食や傷の原因になります。

※清掃の際にシンナーやベンジン、中性洗剤以外の洗剤(酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤)、漂白剤は使用しないでください。変色、変形、劣化の原因になります。

2. しっかりと養生を行ってください。

※養生の際に直接商品にテープを貼らないでください。

※養生の際、中にゴミが入り込まないようにご注意ください。傷の原因になります。

※キッチン周りの工事が残っている場合はより頑丈なもので養生を行ってください。

※養生には上乗り、上積み禁止の旨を明記してください。破損の原因になります。

特に IH が養生で隠れている場合は注意してください。ガラスが破損する恐れがあります。

3. お客様に引き渡す前に再度きれいに清掃を行ってください。

4. 同梱の取扱説明書は確実にお客様に届くよう配慮してください。

※汚れたり、折れ目がついたりしないよう大切に保管してください。

MEMO

Acca inc.

<https://www.accastyle.com/>



ACCA.STYLE.KITCHEN